

実験計画演習

[演習] 博士課程 第1学年
必修 2単位

《担当者名》 全指導教員

【授業概要】

指導教員の指導のもと、それぞれの課題研究に関連する様々な実験手法や機器分析法などを学ぶとともに、実験計画の立案法など、論文作成に向けて基礎的な研究法に関する能力を養う。

【学習目標】

- ・課題研究に関連する様々な実験手法や機器分析法を説明・実践できる。
- ・課題研究の目的を達成するための実験計画を立案し、実践できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容・方法など	担当者
1 ～ 30	実験計画	<ul style="list-style-type: none">・各指導教員の課題研究の目的を遂行するための効果的、効率的な研究法を議論する。・各指導教員の課題研究に関連する様々な実験手技を指導する。・各指導教員の課題研究に関連する様々な機器分析法を指導する。・各指導教員の課題研究の目的を達成するための実験計画の策定法を指導する。	全指導教員

【評価方法】

演習への取り組み態度（50%）及び学習目標（50%）の到達度により総合的に評価する。

【教科書】

各指導教員の指定する書籍など

【参考書】

各指導教員の指定する論文など

【学習の準備】

各指導教員の指導に依る。

情報処理演習

[演習] 博士課程 第1学年
必修 2単位

《担当者名》 全指導教員

【授業概要】

指導教員の指導のもと、それぞれの課題研究に関連する文献調査などを通じて高度な情報収集能力と情報解析能力、さらには英語（語学）力並びにプレゼンテーション能力などの修得をめざす。

【学習目標】

- ・課題研究に関連する文献調査など様々な情報の収集方法を実践できる。
- ・課題研究に関連する文献調査により得られる様々な情報の正確な解析を実践できる。
- ・課題研究に関連する英文論文を熟読し、その内容を的確に発表・説明できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容・方法など	担当者
1 ～ 30	情報処理	<ul style="list-style-type: none">・各指導教員の課題研究に関して、インターネット、図書館などを利用する様々な情報の収集方法を指導する。・各指導教員の課題研究に関して収集できる膨大な情報を正確に解析し、処理できる能力の修得を指導する。・英文論文の読解能力が養われるよう、定期的に英文論文を購読し、討論を行う。・英文論文の内容を的確に発表や説明ができるよう指導する。	全指導教員

【評価方法】

演習への取り組み態度(50%) 及び学習目標の到達度 (50%) により総合的に評価する。

【教科書】

各指導教員の指定する書籍など

【参考書】

各指導教員の指定する論文など

【学習の準備】

各指導教員の指導に依る。

基盤研究総合実習

[実習] 博士課程 第1学年
選択 2単位

《担当者名》 全教員

【授業概要】

所属する研究分野以外の異なる2つの研究分野における研究手法を学ぶことにより、専門領域にとらわれない広い研究視野を修得するとともに、修得した他分野の研究手法等を専門分野の課題研究に応用する能力の修得をめざす。

【学習目標】

- ・専門分野以外の異なる研究分野における研究手法を修得し、実践できる。
- ・異なる研究分野における研究手法を、専門分野の課題研究に応用できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容・方法など	担当者
1 ～ 30	総合実習	<ul style="list-style-type: none">・薬物と代謝酵素の相互作用解析法の修得（小田和明・西園直純）・生理活性物質の構造活性相関解析法の修得（石倉稔・山田康司）・生体内微量成分の超高感度測定法の修得（黒澤隆夫・村井毅）・画像診断薬によるイメージング技術の修得（大倉一枝・秋澤宏行）・酵素活性解析法の修得（豊田栄子・波多江典之）・遺伝子機能評価法の修得（青木隆・浜上尚也）・ウイルスの遺伝子変異解析法の修得（岡崎克則・大澤宜明）・食品成分の単離法と機能評価法の修得（和田啓爾・小林大祐）・培養がん細胞を用いた抗腫瘍効果分析法の修得（増田園子・遠藤哲也・寺崎将）・初代培養細胞を用いた薬効解析法の修得（平藤雅彦・飯塚健治・町田拓自）・電気生理学的手法による生体機能解析技術の修得（島村佳一・大橋敦子・木村真一）・動物モデルを用いた脳機能解析の修得（富樫廣子・柳川芳毅）・薬物の体内動態解析法の修得（齊藤浩司・小田雅子）・薬物の臓器特異的移行性の評価法の修得（小林道也・伊藤邦彦）・薬物血中濃度モニタリング技術の修得（唯野貢司・千葉薫・中山章）・生薬成分の単離と分析法の修得（高上馬希重・堀田清）・種々製剤の試作と評価法の修得（八木直美）	全教員

【評価方法】

実習への取り組み態度（50%）及び学習目標の到達度（50%）により総合的に評価する。

【教科書】

各指導教員の指定する書籍など

【参考書】

各指導教員の指定する論文など

【学習の準備】

各指導教員の指導に依る。